

【基本情報】ベロオリゾンテ

ブラジルの南東部内陸に位置するベロオリゾンテ市は、鉱物や宝石の産出で有名なミナスジェライス州の州都です。世界文化遺産にも登録されている古都オウロ・プレットに代わり1897年に州都となった同市は標高800メートルの高原地帯に位置します。ワールドカップ開催中の6～7月は雨量が減り、日中の最高気温は25度程度になりますが、夜間は高原気候のため10度程度まで冷え込みます。

ベロオリゾンテ市の中心部（セントロ地区）は、ブラジルの大都市圏としては治安が比較的良好と言われていますが、日本の治安水準とは比べるべくもありません。セントロ地区でも、北部のバスターミナル付近を中心に薬物中毒者や路上生活者による路上強盗やひったくりが頻発しています。

スタジアムはセントロ地区北方の郊外にあり、近隣に所在するパンプーリャ湖周辺は市民の憩いの場所ですが、夜間には犯罪が多発しています。

また、昨年のコンフェデ杯では試合開催中のスタジアムを標的とした大規模なデモが発生しました。

本ウェブページで最新の情勢をチェックし、安全・快適にワールドカップ観戦をお楽しみください。

【基本データ】

■時差：日本より12時間遅れ(ベロオリゾンテの午前0時が日本の午後12時)。

■気候：6月の平均最高気温は25℃、平均最低気温は13℃。

■服装：日中は日本の初夏の服装で問題ないが、屋内では冷房が効いていることもあるため、長袖があると便利。

■保健衛生：特段に注意の必要な風土病は報告されていない。飲料水は水道ではなくミネラルウォーターを購入する。

■宗教：・カトリックを中心とするキリスト教が大半を占める。タブーは少なく、飲食関係の禁忌はほとんどない。

■公用語：・ポルトガル語。主要なホテルのレセプション、レストラン、土産物店においては英語可。ただし、タクシーはポルトガル語しか通じない場合があるため、目的地を紙に控えていくのが無難。

■通貨：・一般の店では、現地通貨レアルでのみ支払い可能で外貨は使用不可。

1レアル＝42円、1米ドル＝2.4レアル（平成26年2月14日現在）

■クレジットカード：ほとんどのホテル、レストラン、土産物店等で主要なカード(VISA, Master 等)が使用できるが、タクシーでは現金のみの場合が多いので注意。ほとんどのホテル、レストラン、土産物店等で主要なカード(VISA, Master 等)が使用できるが、タクシーでは現金のみの場合が多いので注意。

【基本情報】 ペロオリゾンテ

■チップ：・チップの文化はない。レストランではサービス料として 10%程度が加算されていることがある。高級ホテルのポーターは荷物1個につき 1～2 米ドル程度(2～5レアル程度)が相場。

■電圧： 110V。周波数は 60Hz。

■インターネット：通常のノート・パソコン内蔵のモデムであれば使用可能。電話のモジュラー・ジャックの形状は日本と同じ。